

宮内小だより

<http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/>

子どもと共に

No. 5

令和8年 7月16日

廿日市市立宮内小学校

はつかいちの未来を築くディスカッション

6年生は、社会科の学習で政治の仕組みやはたらきについて学習しました。

学習したことをもとに、『今のはつかいち』の現状をふまえて学級ごとに松本市長と生田教育長に向けて6月26日（金）に提案をしました。児童や保護者の方にとったアンケートを参考にしながらテーマを絞りました。

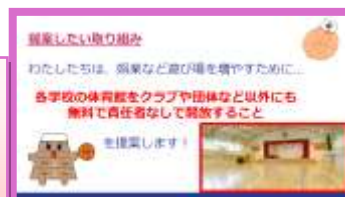
1組『スマートごみ箱の設置について』

きれいで住みやすい廿日市にするために、“スマートごみ箱”を設置すればポイ捨てが減り、地域の人たちが安心して暮らせるようになる。



廿日市市内にある小中学校の体育館の開放をすれば、運動不足の解消につながる。暑い季節の熱中症対策にもなる。

2組『体育館の開放について』



面白いですね ぜひ検討したいと思います

市長さんと教育長さんは、メモを取りながら、じっくり話を聞いてくださいました。一つひとつの提案に丁寧に向き合っていたいただいたことは達成感につながりました。

参観に来られていた学校運営協議会の方に「こんなに立派に提案できるなんてすごい！廿日市の未来は明るいなと思った」とご感想をいただきました。

3組『鳴川海岸の開発について』



ビーチの拡張（大野鳴川）をしてレジャー施設を作れば、観光客が増えるし、防災力の向上も見込める。

給食も一緒

川柳教室

7月1日（水）～3日（金）に4・5・6年生で川柳教室を行いました。

川柳とは、五・七・五のリズムで日常の出来事や感じたことを表現する短い詩です。講師の弘兼先生から、星座の話や天体観測の話の聞き、星空に思いをはせながらイメージを広げ、川柳を作りました。

それぞれが感じた星空の美しさや楽しさを言葉で表現し、楽しい時間を過ごしました。



山田SVに授業を見ていただきました

7月9日（木）に大阪市教育委員会の特別支援教育士スーパーバイザー（元廿日市市特別支援教育アドバイザー）である山田 充先生に来校していただき、授業を参観してアドバイスをもらいました。

○学力の定着に向けて→ **正しい姿勢で座る**



「聞く」力が付く → 学ぶ意欲が育つ → 学力が定着する

- 勉強する時に教科書や他の物の上にノート等を広げていませんか？
- 机上に荷物をたくさん置いていることで体がずれていませんか？

右利きなのに、ノートが左側にある場合は要チェックです。書く際に最適な位置の選択をせずにいきなり書いていたり、体が不自然に傾いていても平気で書いていたりすることが分かります。目の前の課題に飛びついて、全体の状態を考えて課題に取り組めない傾向が強く、学習の成果が上がりにくくなります。

姿勢や机上の整頓など、小さなことに思えますがそのことで学習の妨げになってしまったりは本人が一番困ります。適切な環境を整え、“得意”を伸ばし、児童の「できた！」「わかった！」を増やせるよう、また、教職員もそれを一緒に喜べるように授業改善に取り組んでいきます。

プール終了！



今年は、「暑すぎて水泳中止！！」となる日がありませんでした。むしろ、水温が上がらず寒くて・・・ということがあったくらい。どの学年も最後の記録会では張り切って泳ぎ、学習の成果を発揮していました。

夏休みは海やプールへ行く機会も増え、水の事故も心配されます。水慣れの中で感覚や動きをつかみながら、「命」を守ることを第一に考えていきましょう。

夏休み中は・・・

*緊急（事故や入院等）の場合は、学校（39-2231）へ連絡をお願いいたします。（8:15～16:45）
なお、8月12日（水）～14日（金）の3日間と土日祝日、学校は閉庁します。緊急に学校へ連絡することがあれば、廿日市市役所に連絡してください。（代表）20-0001